

2020. 9. 30 校長講話

全校の皆さん、おはようございます。

今日の校長講話は、3つの場面について話します。①一つ目は日本全体、②続いて、芳川小学校、③最後に世界全体の動きです。

皆さんに、問題を出しながら話を進めていきます。

早速、第1問。「今年の7月1日に、日本全体で私たちの生活に大きな変化がありました。それは、どんなことでしょうか？」

ヒントです。「その日まではタダでした。」

正解は、「レジ袋の有料化」です。私が、お店で買い物をしたときこのレジ袋も一緒にいただいたら、5円かかりました。それまでは、タダでもらっていたので、高いなと感じました。だから、「うちは、スーパーに買い物に行くときにはマイバックを持っていくようになったよ」という人も多いのではないのでしょうか。

では、第2問。ではなぜレジ袋は有料化されたのでしょうか。(静かに、頭の中で考えてみてください。) ちなみに、レジ袋は英語で「プラスチックバック」ともいうそうです。

この有料化の理由には、どんどん海にたまるプラスチックゴミを少しでも減らして、海や海の生き物を守ろうとすること、また、レジ袋などのプラスチック製品を作るために出てしまう二酸化炭素(CO₂)の量を減らして地球温暖化を防ごうというねらいがあるそうです。環境問題の解決に向けた第一歩なんですね。

第3問。わたしたちの日本は、世界の中で何番目にプラスチックごみを捨てている国でしょう。

世界にはおよそ200の国ありますから、その半分の100番くらいでしょうか、それともベスト10入りしているでしょうか。

正解は、2番目。アメリカに続いて、世界で2番目にプラスチックのゴミを捨てている国なのです。そうしたこともあり、レジ袋が有料化されたのでしょうか。

続いて、場面を変え、芳川小の話です。

皆さんは、ごみのポイ捨てをしたことは、ありますか？また、学校に来る時などにポイ捨てのゴミを見たことはあるでしょうか？

9月のある1日、私は学校の周辺にどのくらいのゴミが捨てられているのか、調べてみました。写真を撮ってきたので、見てください。まずは、学校周辺の通学路です。

【DVD再生①】（写真を見ながら、コメント）

続いて、学校の敷地の中を歩いて見ました。どんなものが落ちていたでしょうか。

【DVD再生②】（写真を見ながら、コメント） →終了後、切り替え

なんと、落ちていたのは、マスクでした。ポイ捨てしたものではないかもしれませんが、名前がなく落とし主のわからないマスクが、1日で5つ以上も見つかりました。

先ほど見てもらったマスクは、すべて使い捨ての「不織布」でできたマスクです。

さて、ここで第4問。この不織布は、何でできているでしょうか？

ここは、次の3つの中から選ぶ三択問題にします。

1番=布 2番=紙 3番=プラスチック

私が持っているマスクの箱を調べてみました。すると、不織布マスクは、ポリプロピレンというプラスチックの一種でできていることがわかりました。だから、正解は3番のプラスチック。

この材質は、簡単には分解されず、ずっと地球上に残り続けます。

川に落ちて流された場合、海にまで流れ着きます。このような使い捨てマスクや手袋が「コロナごみ」として新しい環境問題になってきています。

場面を世界に移し、最終問題です。

第5問。「SDGs」この言葉を知っていますか？

読み方は、外国語活動を始めた3年生以上ならわかるでしょうか。「エスディージーズ」と読みます。正式には、このSDGsは「Sustainable Development Goals」（サステイナブル ディベロップメント ゴールズ）の頭文字を取っていて、日本では「持続可能な開発目標」と訳されています。簡単に言えば、「世界全体で、私たちの暮らしや地球を守りながら、いろいろな問題を解決して、豊かで幸せな未来をつくりましょう」という目標です。目標は全部で17個もあります。この話は、今日はここまでにしますが、興味のある人は詳しく調べてみてください。学校の図書館にも本がありましたよ。

さて、そろそろ話をまとめます。

今日私がお話した内容は、このSDGsの中の「14 海の豊かさを守

ろう」と「12 つくる責任 つかう責任」「13 気候変動に具体的な対策を」に関係しています。

高学年の人は勉強したかも知れませんが、私たちの地球では、多くのものが巡り巡っています。私たちが捨てたゴミは、形を変えて私たちに返ってきます。だから、私たちの未来にとって、とても大切な問題なのです。

実は、私たち芳川小学校は、すでにSDGsに取り組んでいると言えます。昨年の校長講話で提案し、全校の皆さんで取り組んだ「むだな電気を消す」もその一つです。

マスクを簡単に落とさないようにする、落としそうな人は名前を書く、むだな電気や水道を止めるなど、自分たちのできることを積み重ね、SDGsを進めましょう！